

冬の備えは万全に

早めの冬タイヤ・チェーンの装着を

雪道での立ち往生はみんなの大迷惑!!



ふもと 麓



とうげ 峠

危険!!

標高差でこんなにも天気が違います！峠では吹雪になっていることも！

積雪・凍結道路ですべり止めの措置をとらない運転は

法令違反となります。

タイヤチェーン未装着車の通行を禁止する規制時は、冬タイヤであっても、タイヤチェーンの装着が必要です。違反行為は、反則金の適用となります。（大型：7千円、普通：6千円、二輪：6千円、原付：5千円）

チェーン装着時の注意

●事前に確認！

必ずタイヤのサイズにあったものを選びましょう。説明書に従い事前に装着の練習をしておくと、実際の雪道での装着時にスムーズに作業ができます。

●速度は抑えて走行しよう！

スピードの出し過ぎは、チェーンの膨れ上がりによる車体への接触でチェーン切れの原因となります。また、走行中、異常音がしたら要注意△

●確実な装着と十分な点検を実施しよう！

チェーンの緩み、ゴムバンド等のフックへの掛け忘れはチェーン脱落の原因となります。また、チェーンの摩耗・損傷はチェーン切れの原因となります。

走行予定の道路状況を把握し
雪道への備えを万全に!!
立ち往生対策も忘れずに!!

タイヤ
チェーン

冬タイヤ

スコップ

携帯トイレ
毛布等

■道路情報のご案内■ ※お出かけ前にご確認ください。

●道路ライブカメラ 気になる路面状況がご覧になれます。

http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/02_miti/livcam/index.htm



●(公財)日本道路交通情報センター

<http://www.jartic.or.jp/>



出発する前に…

ドライブは計画的に！

- できるだけ明るいうちに目的地に到着するよう余裕を持って行動しましょう。
(予定の到着時刻・ルートを家族や訪問先にあらかじめ知らせると◎)
- 目的地までの天気・道路状況を確認しましょう。
- 大雪や地吹雪で視界が悪く、運転が困難な場合は、出発時間の変更や公共交通機関の利用を検討しましょう。

しっかりチェック！✓

- 運転する車両の点検を行い整備不良がないようにしましょう。
燃料は十分か、バッテリーは弱っていないか、ウォッシャー液の残量等に注意しましょう。
- 携帯電話は充電しておきましょう。予備バッテリーがあると万が一の際に困りません。
- 冬道走行の装備品・防災用品(下記参照)を確認しましょう。

もしもの時のために車に常備しておきましょう！

- | | | | | |
|--|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 防寒具(毛布・使い捨てカイロ) | <input type="checkbox"/> タイヤチェーン | <input type="checkbox"/> 旗・目立つ布 | <input type="checkbox"/> 非常用の水・食料 | <input type="checkbox"/> 牽引用ロープ |
| <input type="checkbox"/> 滑止用ヘルパー・滑止用砂 | <input type="checkbox"/> 停止表示板 | <input type="checkbox"/> 工具・ラジオ | <input type="checkbox"/> タオル・着替え | <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ |
| <input type="checkbox"/> ブースターケーブル | <input type="checkbox"/> スコップ | <input type="checkbox"/> 発煙筒 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯(電池) | <input type="checkbox"/> 雨具・手袋 |

もし動けなくなったら…

車から離れない！

避難できる場所や救助を求められる人が確実に確認できる時以外は、**車を離れてはいけません**。不用意に車を離れると吹雪の中で自分の位置を見失い、遭難するおそれがあります。



また、車道では後続車が走行してくる場合がありますので、**交通事故に十分注意**する必要があります。

救助を待つ間は…

- 濡れた服は着替え、あらゆる防寒具を利用して体温の保温に努めましょう。
- 低体温症や凍傷、及び排気ガスによる一酸化炭素中毒にならないように注意しましょう。
- 救助までに長時間を要する場合がありますので、エンジンを時々つけて車内を暖めましょう。
(燃料切れやバッテリーが上がらないように注意！)
- 除雪が追いつかず、排気ガスが車内に入るのが心配される場合はエンジンを切りましょう。
(むやみに車外には出ずに、毛布や防寒着で体を温めつつ、救助を待ちましょう)

救助を求めるときは…

ハザードランプを点滅させると同時に停止表示板や旗(明るい色の布)を揚げて**停止していることが他車にわかるように**します。



警察・消防やロードサービスに電話で救助を求めるときは、**できるだけ自分の位置を正確に伝えてください**。

国道番号と位置は、道路わきに1km毎に設置された地点標(キロポスト)に示してあります。

走行中に道路・お天気情報を知りたい！

運転中はラジオ・VICS(道路交通情報システム)のほか、道路情報板や路側放送などで、行く先々の道路情報に注意を払いましょう。

また、天気が悪いときにはこまめに休憩をとり、ラジオ・テレビ・インターネット・携帯電話などで天気や道路の情報を確認しましょう。



疲れた時や、もしも？の時も安心！！『道の駅』

「道の駅」には24時間利用可能な駐車場・トイレ・電話等の基本的な休憩施設があり、売店や飲食店がある「道の駅」もあります。また、道路情報・道路カメラ画像・気象情報などを見ることができる「道の駅情報端末」が設置されています。



運転中の休憩や車の不調を感じた場合などにもご利用ください。



運転しながらの **スマホ・カーナビ・カーオーディオ** の操作は **危険なので止めましょう！！**

